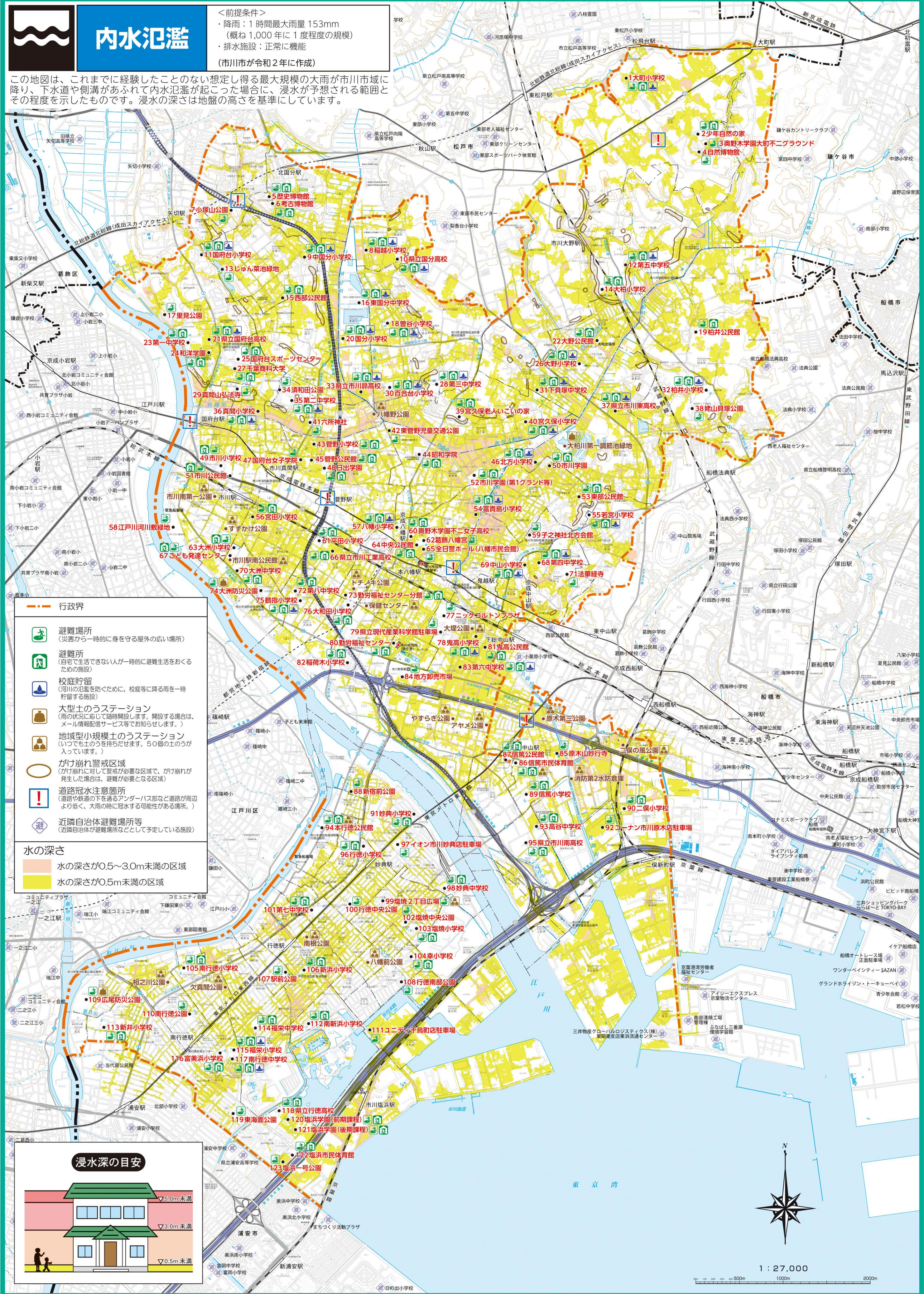
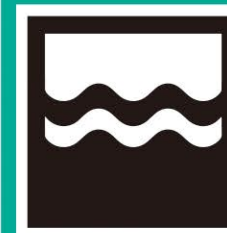






内水氾濫

<前提条件>

- ・降雨：1時間最大雨量 153mm
(概ね 1,000 年に 1 度程度の規模)
- ・排水施設：正常に機能

(市川市が令和 2 年に作成)

この地図は、これまでに経験したことの無い想定し得る最大規模の大雨が市川市域に降り、下水道や側溝があふれて内水氾濫が起こった場合に、浸水が予想される範囲とその程度を示したものです。浸水の深さは地盤の高さを基準にしています。

行政界

避難場所
(災害から一時的に身を守る屋外の広い場所)

避難所
(自宅で生活できない人が一時的に避難生活をおくるための施設)

校庭貯留
(河川の氾濫を防ぐために、校庭等に降る雨を一時貯留する施設)

大型土のうステーション
(雨の状況に応じて随時開設します。開設する場合は、メール情報配信サービス等でお知らせします。)

地域型小規模土のうステーション
(いつでも土のうを持ちだせます。50個の土のうが入っています。)

がけ崩れ警戒区域
(がけ崩れに対して警戒が必要な区域で、がけ崩れが発生した場合は、避難が必要となる区域)

道路冠水注意箇所
(道路や鉄道の下を通るアンダーパス部など道路が周辺より低く、大雨の時に冠水する可能性がある箇所。)

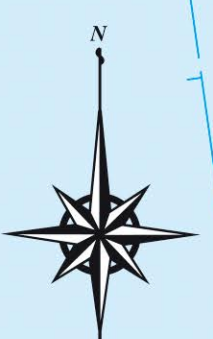
近隣自治体避難場所等
(近隣自治体が避難場所などとして予定している施設)

水の深さ

- 水の深さが0.5～3.0m未満の区域
- 水の深さが0.5m未満の区域

浸水深の目安





1 : 27,000

0 100 200 300 400 500m